

年	組	名前
---	---	----

衆院選投票率 全国 8 位

ピークから約30%減少
「長期的取り組みを」

チラシを配り投票を呼び掛ける関係者＝12月上旬、日出町



戦後最低の投票率を記録した衆院選。県選管は「1日」から一つ上げて8位と本一のおんせん県おおいた投票率も日本一のスロ」が低下。関係者は「長期的な取り組みが必要」と危機感を強めている。

小選挙区の投票率は全都道府県で下がった。最も高かったのは島根県の59・24%。最低は青森県の46・83%だった。

衆院選の都道府県別投票率 (小選挙区)

The Lower House Election			
順位	都道府県	投票率(%)	増減
1 (1)	島根	59.24	▲6.50
2 (3)	山梨	59.18	▲4.49
3 (2)	山形	59.15	▲5.71
4 (12)	佐賀	57.77	▲4.09
5 (28)	北海道	56.35	▲2.38
6 (16)	岩手	56.23	▲5.45
7 (18)	三重	56.20	▲5.09
8 (9)	大分	56.11	▲6.06
9 (5)	秋田	55.78	▲7.44
10 (15)	静岡	55.61	▲6.14

カッコ内は前回 (2012年) 順位。増減は前回投票率との差

大分県は56・11%。ピークの86・24% (1980年) から約30%減少した。投票を棄権した人は▽1区 17万2611人▽2区 12万2188人▽3区 13万5327人。各選挙区の当選者の得票数よりはるかに多い。「上位とはいえ、過去最低の投票率となったことは残念」(広瀬勝貞知事)と受け止められている。全国1位の島根県は69年以来、16回連続でトップ。同県選管によると、「生活の一部として日常化した行方針だ。」

県明るい選挙推進協議会の山崎清男会長 (大分大学教育福祉科学部教授) は「50%ほどの投票率で推移すれば、選挙は『やっている』という事実を示すだけの形式的なものになる恐れがある。教育現場でどう投票への後押しをするか、大改革が必要だ」と指摘した。

(2014年12月19日朝刊23面)

56・11%でした。衆院選の大分県の投票率は

①大分県全部で投票を棄権した有権者は何人いるでしょう。

③投票率が上がる方法を考えてみよう。

②最も高かった都道府県と、低かった都道府県の差は何ポイントでしょう。